

報道関係者各位

エフセキュア、MITRE Engenuity による 第 3 回 ATT&CK テストで高い評価を獲得

～ サイバー攻撃集団が実際に使用する攻撃戦術／手法に対する優れた可視性を実証 ～

2021 年 4 月 22 日
エフセキュア株式会社

先進的サイバー・セキュリティ・テクノロジーのプロバイダである F-Secure (本社: フィンランド・ヘルシンキ、CEO: Juhani Hintikka、日本法人: 東京都港区、以下、エフセキュア) は、米国の研究／評価機関である MITRE Engenuity (以下、MITRE) による ATT&CK® 評価テストの第 3 ラウンドにおいて高い評価を受けたことを発表しました。年 1 回実施されているこのテストは、現実世界の戦術／手法に沿ってサイバーセキュリティサービスプロバイダ各社のソリューションを評価するものです。今回のテストで使用されたのは、過去 5 年間に数百の企業から 10 億ドル以上を窃取した Carbanak (バックドアの一種) や FIN7 として知られるサイバー攻撃集団の戦術／手法であり、これらの脅威に対する防御において、エフセキュアが提供する高い可視能力の優位性が実証されました。

MITRE は毎年、政府機関や企業がセキュリティ上の脅威に対抗するためのより良い意思決定を行い、産業界の脅威検出能力を向上させるために、サイバーセキュリティ製品の独立した評価を行っています。過去数ヶ月間に 29 社のセキュリティベンダーが Carbanak と FIN7 の評価に参加しています。

ATT&CK 評価チームが今回 Carbanak と FIN7 の戦術／手法をエミュレートすることにしたのは、過去のテストにおいてエミュレートされた攻撃グループがスパイ活動に重点を置いていたのに対し、Carbanak と FIN7 は金銭的な利益を得るために幅広い業界をターゲットとしていたからです。ATT&CK 評価チームは、多様な脅威に対処するための防御ソリューションがどのように進化しているかを最もよく把握するために、過去にテストされた技術と未テストの技術やバリエーションとのバランスを常に考慮しています。

エフセキュアでプロダクトマネージャを務める Michael Greaves (マイケル・グリーヴス) は、今回の MITRE テストでの評価について、次のように述べています。

「大きな被害もたらずサイバー犯罪集団からの攻撃を可視化するうえで、MITRE が実施する ATT&CK テストの評価はエフセキュアが提供する優れたパフォーマンスを企業に知ってもらうための素晴らしい方法だと言えます。攻撃の全ての段階を可視化することで、防御側は侵入を検知し、進行中の侵入を阻止できる機会を増やすことができます。当社が ATT&CK テストに参加したのはこれで 3 回目ですが、これらのテストで、当社の製品がインシデントに効果的に対応するために必要な攻撃チェーンの様々な要素に関する情報を提供していることがこれまでと同様に証明されたことを嬉しく思います。」

MITRE で ATT&CK テストの評価を担当する Frank Duff (フランク・ダフ) 氏は、エフセキュアの今回の結果について次のように語っています。

「MITRE のテストは、透明性の高い評価プロセスを通じて、セキュリティコミュニティがより多くの情報に基づいた意思決定を行うことを可能にするものです。MITRE ATT&CK フレームワークをベンチマークとし、一般に公開されている結果を使用して、ユーザーはエフセキュアが Carbanak と FIN7 のエミュレートされた攻撃者の行動をどのように検出した

かを調べることができます。これらの総合評価が、サイバー空間が人々にとってより安全なサイバー空間を作り出すことにつながるのです。」

エフセキュアのポートフォリオには、あらゆる規模の企業／団体向けの『検知と対応』ソリューションが含まれています。エフセキュアの製品とサービスの詳細については、エフセキュアの Web サイトをご覧ください。

<https://www.f-secure.com/jp-ja/business/products>

ATT&CK テストにおけるエフセキュアの詳細な評価結果はこちらからご覧いただけます。(英語)

<https://www.f-secure.com/en/business/resources/mitre-evaluation-2020-carbanak-fin7>

Carbanak と FIN7 をエミュレートした ATT&CK テストの詳細については、MITRE Engenuity のページをご覧ください。

https://attackevals.mitre-engenuity.org/enterprise/participants/?rounds=carbanak_fin7

エフセキュアプレスページ:

<https://www.f-secure.com/jp-ja/press>

エフセキュアについて

エフセキュアほど現実世界のサイバー脅威についての知見を持つ企業は市場に存在しません。数百名にのぼる業界で最も優れたセキュリティコンサルタント、何百万台ものデバイスに搭載された数多くの受賞歴を誇るソフトウェア、進化し続ける革新的なセキュリティ対策に関する AI テクノロジー、そして「検知と対応」。これらの橋渡しをするのがエフセキュアです。当社は、大手銀行機関、航空会社、そして世界中の多くのエンタープライズから、「世界で最も強力な脅威に打ち勝つ」という私たちのコミットメントに対する信頼を勝ち取っています。グローバルなトップクラスのチャネルパートナー、200 社以上のサービスプロバイダーにより構成されるネットワークと共にエンタープライズクラスのサイバーセキュリティを提供すること、それがエフセキュアの使命です。

エフセキュアは本社をフィンランド・ヘルシンキに、日本法人であるエフセキュア株式会社を東京都港区に置いています。また、NASDAQ ヘルシンキに上場しています。詳細は <https://www.f-secure.com/en/welcome> (英語) および https://www.f-secure.com/ja_JP/ (日本語) をご覧ください。また、Twitter @FSECUREBLOG でも情報の配信をおこなっています。

※ 以下、メディア関係者限定の特記情報です。個人の SNS 等での情報公開はご遠慮ください。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

エフセキュア株式会社

広報部 秦 和哉

TEL: 03-4578-7745 (直通)

japan-pr@f-secure.com